

NY マーケットレポート (2016年12月2日)

NY 市場では、序盤に発表された米雇用統計で、非農業部門雇用者数が市場予想を若干下回る結果となったことや、賃金の伸びが前月比でマイナスとなったことを受けて、ドルが主要通貨に対して下落した。しかし、失業率が2007年8月以来の低水準に改善したことや、労働市場は引き続き堅調で、FOMCでの利上げには影響しないとの見方を背景に、その後はドル買いが優勢となった。ただ、週末のポジション調整に加えて、イタリアの国民投票に対する懸念も根強く、上値の重い動きが続いた。

2016年12月2日 (金)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	113.96	114.20	113.60
EUR/JPY	121.59	121.89	121.22
GBP/JPY	143.85	144.25	142.94
AUD/JPY	84.52	84.73	84.38
EUR/USD	1.0672	1.0690	1.0657

LONDON	高値	安値
USD/JPY	114.06	113.61
EUR/JPY	121.60	121.00
GBP/JPY	144.07	143.14
AUD/JPY	84.64	84.34
EUR/USD	1.0678	1.0631

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	113.52	114.21	113.34
EUR/JPY	121.14	121.59	120.88
GBP/JPY	114.57	144.67	143.55
AUD/JPY	84.64	84.81	84.42
NZD/JPY	81.01	81.28	80.83
EUR/USD	1.0672	1.0682	1.0625
AUD/USD	0.7457	0.7469	0.7409

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19170.42	-21.51
S&P500	2191.95	+0.87
NASDAQ	5255.65	+4.55
日経225 (CME)	18365	-75
トロント総合	15052.52	+24.99
ボルサ指数	44555.26	-329.60
ボベスパ指数	60316.13	+809.59

12/5 経済指標スケジュール

09:00	【ニュージーランド】11月ANZ商品価格指数
09:30	【オーストラリア】3Q企業営業利益
09:30	【オーストラリア】11月ANZ求人広告件数
09:30	【香港】11月購買部景気指数
10:45	【中国】11月財新メディア非製造業PMI
14:00	【日本】11月消費者態度指数
16:00	【トルコ】11月消費者物価指数
16:00	【トルコ】11月生産者物価指数
17:30	【スウェーデン】10月鉱工業生産
17:50	～ 18:30
	【フランス】【ドイツ】【欧州】11月非製造業PMI
18:30	【欧州】12月センチックス投資家信頼感
19:00	【欧州】10月小売売上高
23:00	【メキシコ】9月総設備投資
23:45	【米国】11月非製造業PMI
00:00	【米国】11月ISM非製造業景況指数
00:00	【米国】11月労働市場情勢指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1177.80	+8.40
NY 原油	51.68	+0.62
CMEコーン	347.25	+4.75
CBOT 大豆	1027.50	-2.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.104%	1.147%
3年債	1.386%	1.439%
5年債	1.831%	1.903%
7年債	2.186%	2.254%
10年債	2.390%	2.452%
30年債	3.067%	3.110%

ドイツ10年債	0.281%	0.369%
英国10年債	1.380%	1.497%

12/5 主要会議・講演・その他予定

- ・黒田日銀総裁 講演
- ・ニューヨーク連銀総裁 講演
- ・シカゴ、セントルイス連銀総裁 講演
- ・ユーロ圏財務相会合

NY 市場レポート

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

11 月シンガポール購買部景気指数 50.2 (予想 50.0・前回 50.0)

11 月シンガポール電子産業指数 50.5 (前回 50.8)

22 : 30

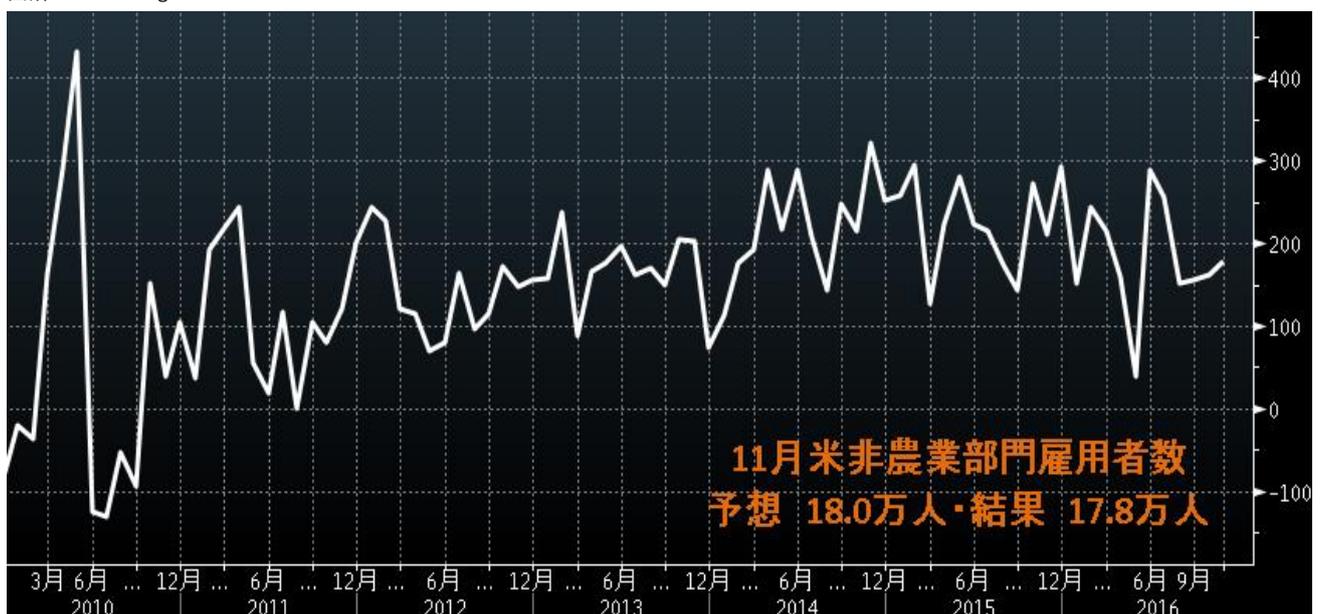
◀ 経済指標の結果 ▶

11 月米失業率 4.6% (予想 4.9%・前回 4.9%)

11 月米非農業部門雇用者数 17.8 万人 (予想 18.0 万人・前回 14.2 万人)
 前回発表の 16.1 万人から 14.2 万人に修正



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

11月民間部門雇用者数 15.6万人（予想 17.5万人・前回 13.5万人）
 前回発表の14.2万人から13.5万人に修正

11月米製造業雇用者数 -0.4万人（予想 -0.2万人・前回 -0.5万人）
 前回発表の-0.9万人から-0.5万人に修正

11月米平均時給（前月比） -0.1%（予想 0.2%・前回 0.4%）

11月米平均時給（前年比） 2.5%（予想 2.8%・前回 2.8%）

11月米労働参加率 62.7%（前回 62.8%）



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

◀ 経済指標のポイント ▶

11月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数の伸びが+17.8万人となり、市場予想を下回った。失業率は前月から0.3ポイント低下し、リーマン・ショック以前の水準となる4.6%まで改善した。非農業部門雇用者数は、10月が+16.1万人から+14.2万人へ下方修正、9月は+19.1万人から+20.8万人へ上方修正された。

- ①民間部門雇用者数は+15.6万人、製造業は-0.4万人と4ヵ月連続のマイナスとなった。建設業は+1.9万人、鉱業・林業は+0.2万人、サービス部門は+13.9万人と前月から拡大。サービス業のうち、教育・医療サービスが+4.4万人、一時雇用を含む企業・専門サービスは+6.3万人。
- ②政府部門は+2.2万人となり、+0.7万人だった前月からプラス幅が拡大した。地方政府が大きくプラスになったほか連邦政府、州政府もプラスとなった。
- ③1時間当たりの賃金は、10月と比べ0.03ドル減の25.89ドル、前年同月比+2.5%。管理職を除いたベースの時給は前月比+0.02ドルの21.73ドルとなった。
- ④フルタイムで働きたいのにパートの仕事しか見つからない人なども含めた広義の失業率（U6）は9.3%と前月比で0.2ポイント低下した。
- ⑤自発的離職率は12.5%で前月から0.4ポイント増加。失業期間が半年以上の長期失業者数は、前月から-12.3万人の185.6万人となり、失業者全体の24.8%をとった。



出所：Net Dania

22:30

◀ 経済指標の結果 ▶

11月カナダ失業率 6.8% (予想 7.0%・前回 7.0%)

11月カナダ雇用ネット変化率 1.07万人 (予想 -1.50万人・前回 4.39万人)



出所：Bloomberg

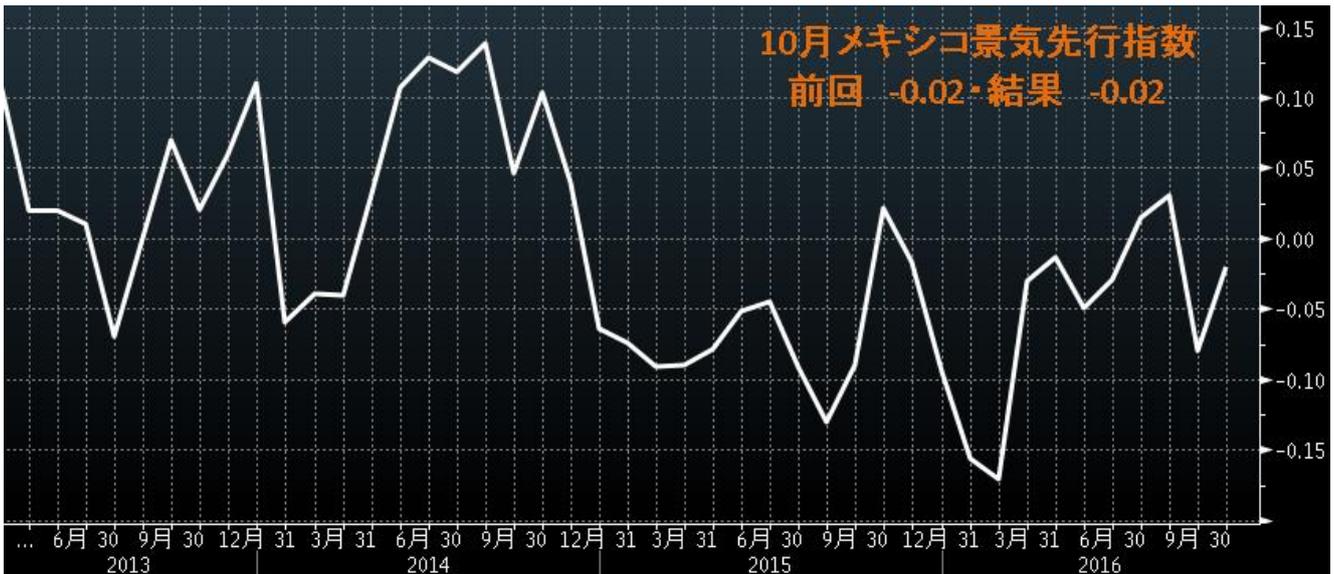


出所：Bloomberg

23:00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月メキシコ景気先行指数 -0.02 (前回 -0.02)
 前回発表の-0.08から-0.02に修正



23 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

ISM ニューヨーク 52.5 (前回 49.2)



1 : 40

南アフリカの格付けを維持、見通しネガティブ～S&P

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、憲法改正の是非を巡るイタリアの国民投票を控えて投資家がリスク回避姿勢を強め、安全資産とされる米国債を逃避的に買う動きが先行した。11月の米雇用統計で、非農業部門雇用者数や失業率が比較的堅調な結果となったものの、時間当たりの賃金が前月から低下したことが買い材料とされた。

午前の利回りは、30年債が3.06% (前日 3.11%)、10年債が2.38% (2.45%)、7年債が2.18% (2.26%)、5年債が1.83% (1.90%)、3年債が1.38% (1.44%)、2年債が1.11% (1.15%)。

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、イタリアの憲法改正を巡る国民投票を 12/4 に控え、投資家がリスク回避姿勢を強めたことから売りが優勢となった。

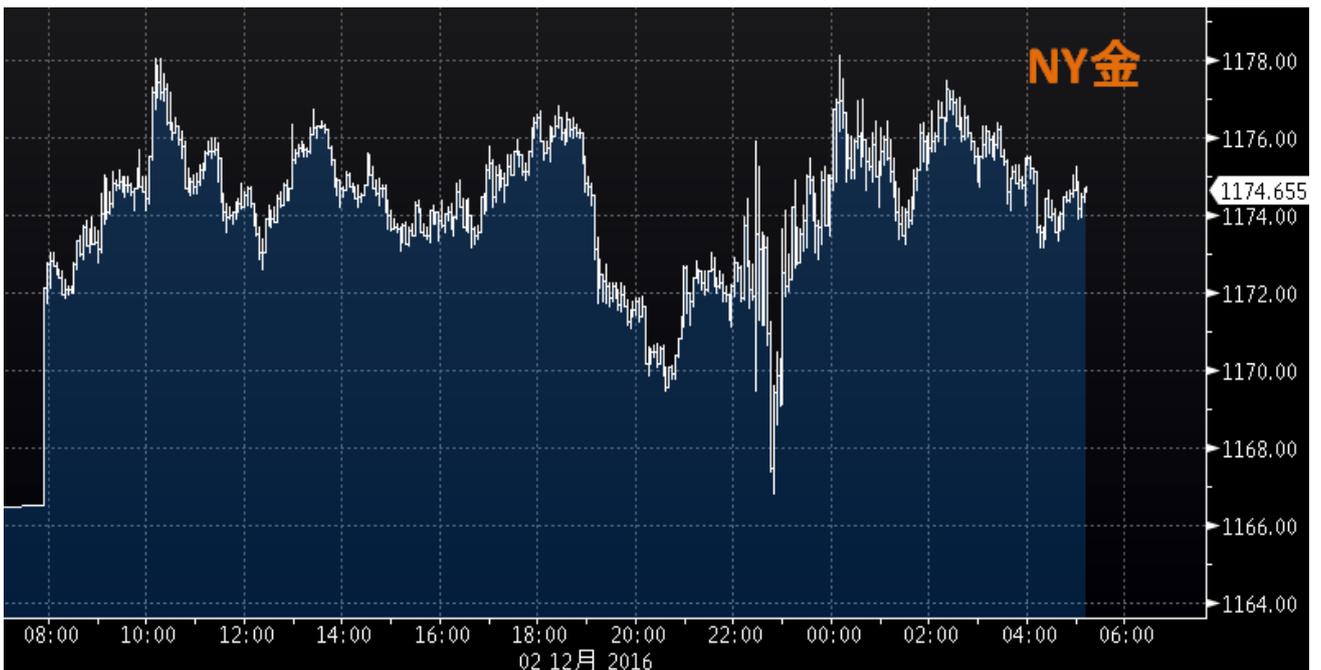


出所：Bloomberg

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 8.40 ドル高の 1 オンス=1177.80 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドルが円などに対して下落したため、ドルの代替資産とされる金を買う動きが優勢となった。米雇用統計の影響は限定的だった。

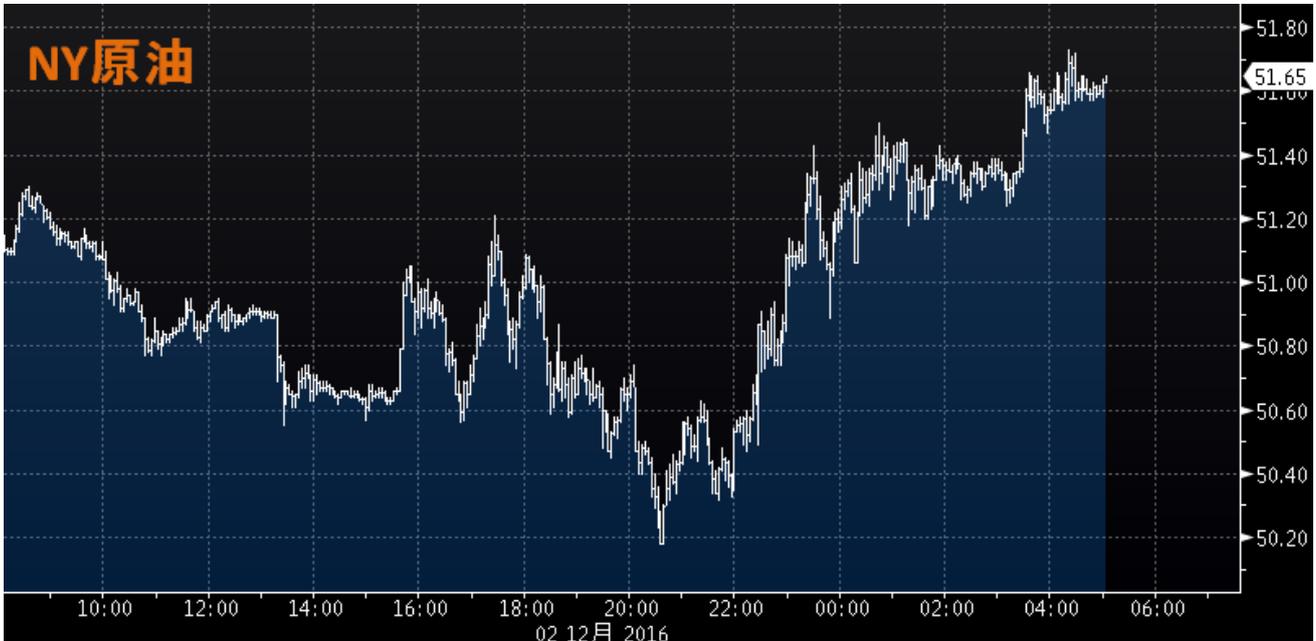


出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

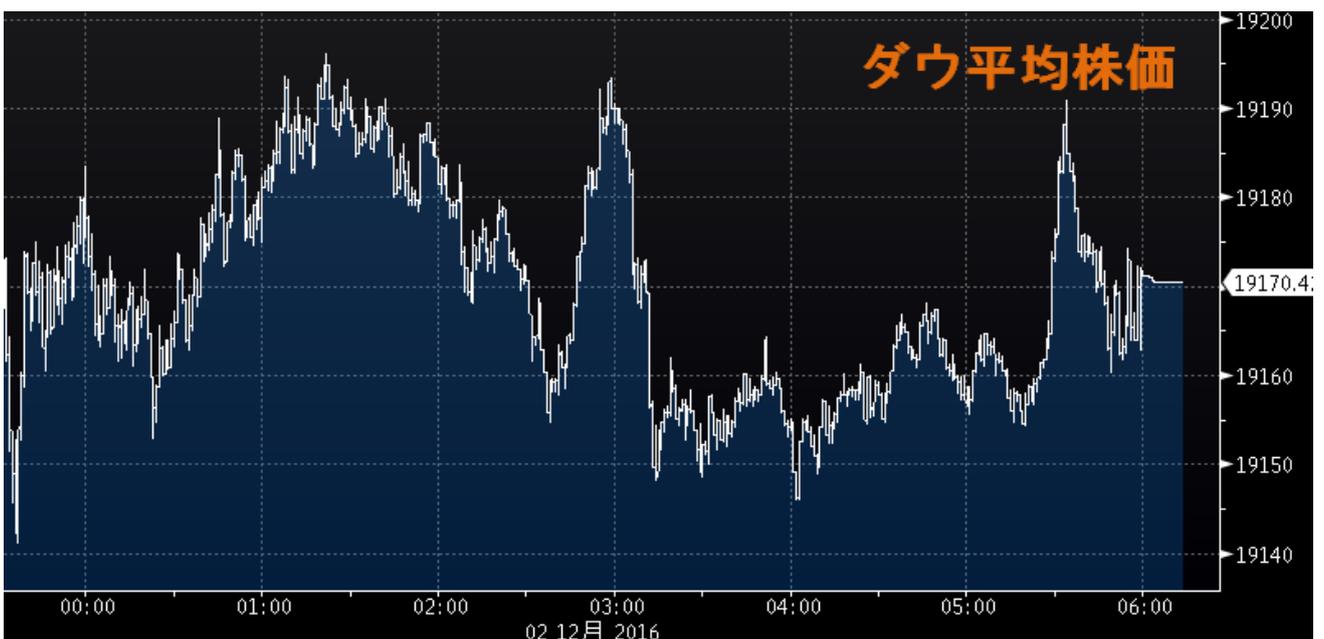
NY 原油は、中心限月が前日比 0.62 ドル高の 1 バレル=51.68 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC の減産合意に伴う需給改善への期待が引き続き材料視され、堅調な動きとなった。また、オバマ米大統領が上下両院で可決されたイラン制裁延長の法案に署名する見通しと伝わったことをきっかけに、相場の上昇幅が拡大した。終値ベースでは、昨年 7 月中旬以来約 1 年 5 ヶ月ぶりの高値となった。



◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、イタリアの国民投票を控え、投資家がリスクを回避する姿勢を強めたことで、ダウ平均は売りが先行した。また、米雇用統計では雇用者数の伸びが市場予想を下回る内容だったものの、市場への影響は限定的となった。ダウ平均株価は、一時プラス圏まで値を戻す場面があったものの、小幅安で引けた。一方、下落が続いたナスダックはプラス圏で推移し、小幅高となった。



《外国為替市場》

外国為替市場は、米雇用統計では、非農業部門雇用者数の伸びが予想を下回ったものの、失業率が改善したことから、下落後に上昇する動きとなった。その後は、週末のポジション調整やイタリアの国民投票への警戒感から円買いの動きも入り、軟調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。